

長久手市市民意識調査 調査結果報告書

令和5年3月

長久手市

資料 1 - 2

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	市民調査.....	2
(1)	男女共同参画に関する用語について.....	2
(2)	男女平等意識について.....	4
(3)	仕事について.....	22
(4)	ワーク・ライフ・バランスについて.....	32
(5)	結婚、子育てについて.....	45
(6)	DV（ドメスティック・バイオレンス）について.....	49
(7)	性の多様性（LGBTQ等）について.....	62
(8)	行政の取組について.....	71
(9)	ご自身について.....	76
2	中学生調査.....	79

I 調査の概要

1 調査の目的

第4次男女共同参画基本計画（長久手市女性活躍推進計画及び長久手市DV防止基本計画を含む）の改定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

市民調査：長久手市在住の満18歳以上の方の中から、2,000人を無作為抽出

中学生調査：市内の中学2年生

3 調査期間

令和4年10月31日から令和4年11月18日

4 調査方法

市民調査：郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

中学生調査：学校配付・学校回収方式

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
市民調査	2,000 通	655 通	32.8%
中学生調査	—	470 通	—

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

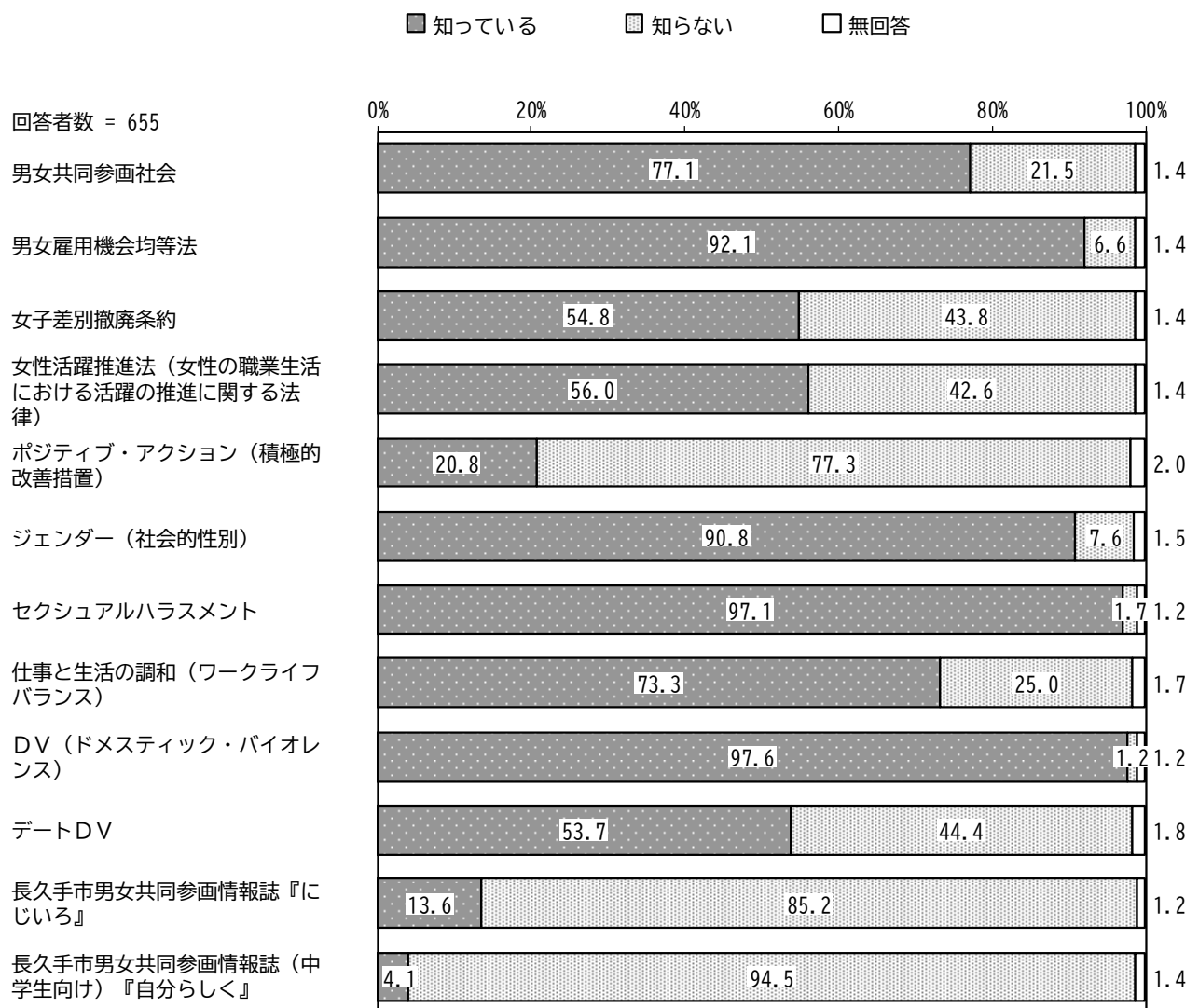
Ⅱ 調査結果

1 市民調査

(1) 男女共同参画に関する用語について

問1 男女共同参画に関する用語で知っている言葉について、回答してください。
(それぞれの言葉を知っている場合は1に○ 知らない場合は2に○をつけてください)

『男女雇用機会均等法』『ジェンダー（社会的性別）』『セクシュアルハラスメント』『DV（ドメスティック・バイオレンス）』で「知っている」の割合が高くなっています。また、『長久手市男女共同参画情報誌『にじいろ』』『長久手市男女共同参画情報誌（中学生向け）』『自分らしく』』で「知らない」の割合が高くなっています。



【国・県調査との比較（知っている割合）】

国、愛知県調査と比較すると、すべての項目で「知っている」の割合が高くなっています。

※国：令和元年度男女共同参画社会に関する世論調査
愛知県：令和元年度男女共同参画意識に関する調査
（以下同様）